様式例１０（設立認可用）

疾 病 予 防 温 泉 利 用 施 設 の 概 要

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名　　　　称 |  | | | | | | |
| 所　在　地 | 電話 | | | | | | |
| 所管保健所 |  | | | | | | |
| 提携医療機関 | 名　称 | | | 開設者氏名（名称） | | | |
| 所在地 | | | 管理者氏名 | | | |
| 施設責任者 | 氏名　　　　　　　　　　資格等　　　　　　　　登録番号 | | | | | | |
| 職　　　員 | 区　　分 | 常　　勤 | 非 常 勤 | 区　　分 | 常　　勤 | 非 常 勤 |  |
| 保健師 | 人 | 人 | 健康運動士 |  |  |
| 助産師 |  |  | その他 |  |  |
| 看護師 |  |  |  |  |  |
| 入浴指導者 |  |  | 合　　計 |  |  |
| 敷　　　地 | ㎡ | | | | | | |
| 建　　　物 | 延床面積　　　　　　　　　　㎡  温泉設備　　　　　　　　　　㎡  運動設備　　　　　　　　　　㎡ | | | | | | |
| 設　　　備 | １　保健指導を行うための設備 | | | | | | |
| （例）黒板・掲示板・ビデオ装置 | | | | | | |
| ２　入浴を適切に行わせるための設備 | | | | | | |
| （例）全身浴槽・気泡浴槽・寝湯・持続浴槽・サウナ | | | | | | |
| ３　有酸素運動を行わせるための設備 | | | | | | |
| （例）プール・ドレッドミル・自転車エルゴメーター | | | | | | |
| ４　補強運動を行わせるための設備 | | | | | | |
| （例）バーベル・ダンベル | | | | | | |
| ５　体力を測定するための機器 | | | | | | |
| （例）背筋力計・肺活量測定用具 | | | | | | |
| ６　最大酸素摂取量を測定するための機器 | | | | | | |
|  | | | | | | |
| ７　応急手当てを行うための設備 | | | | | | |
| （例）ベッド・毛布・担架・消毒薬・湿布薬・包帯 | | | | | | |
| 運動方法の  記載 | １　運動指導及び保健指導の内容  ２　医療機関との連携の内容  ３　連携医療機関が行う利用者に対する医学的な管理の内容  ４　継続的な利用者に対するサービス内容 | | | | | | |

（作成上の注意）

１．連携している医療機関との連携内容がわかる契約書の写し等を添付すること。

２．敷地の概要図（連携医療機関が同一敷地内であることを表示すること）を添付すること。

　３．建物の概要図を添付すること。

開設しようとする施設等の概要に添付する書類（上記以外のもの）

１　医療関係有資格者一覧表

　(1)　資格名、氏名、生年月日、免許取得日、免許証番号を記入すること。

２　医療関係有資格者の免許証の写し

３　施設周辺の概略図

　(1)　最寄りの駅、主要道路、目標となる構築物等を記入すること。

　(2)　方位を記入すること。

４　敷地平面図

　(1)　敷地の形状、及び敷地内建築物の位置・形状が明記されていること。

　(2)　方位を記入すること。

５　建物平面図

　(1)　構造、各室の用途及び面積が明確であること。

　(2)　他の施設等と合築されている場合、医療法人として使用する部分について色分けをすること。

　(3)　縮尺を記入すること。

(4)　ビルの一室で開設する場合は、フロアーの全体図を添付すること。

６　土地建物を賃貸借する場合は、下記の書類

　(1)　賃貸借契約書（写し）･･･特別な関係のある者等と契約する場合は、賃料の積算根拠　　　　　　　　　　　　　及び関係資料を添付すること。

　(2)　不動産登記の登記事項証明書（ただし、いわゆる雑居ビルの一室で開設する場合は、「土地の登記事項証明書」は添付する必要はないこと。）